

成果の説明書

(氏名) 永田 瞬	(学部) 経済学部
1 重要事項	
(1) 調査・研究について	
2018年度は、繊維産業における人材育成の調査研究を継続して進めるとともに、地域科学研究所の製造業プロジェクトの海外調査準備、『図説経済の論点』の改訂版の執筆等に一定の時間を費やした。また、最低賃金と中小企業・地域経済に関する現状について、講演を行った。主要な研究成果は次のとおりである。	
論文等	
・「縫製業における労働力確保と人材育成の課題—岡山県倉敷市を事例として」『中小商工業研究』135、2018年4月、57-65頁。	
・「鉄鋼業・造船重機産業」法政大学大原社会問題研究所編『日本労働年鑑第88集』旬報社、2018年6月、162-166頁。	
・「地域経済の持続可能な発展とは——中小企業の役割」「なぜ賃金が下がり続けるのか?」「なぜ、外国人技能実習生の拡大なのか?日本における外国人労働者受け入れの論理」柴田努・新井大輔・森原康仁編『新版 図説経済の論点』旬報社、2019年2月、34-37頁/154-157頁/184-189頁。	
口頭発表	
・「働き方改革と最低賃金」「働く」がどうなる?! ~私達の働き方と賃金について考えよう~ (群馬県太田市浜町勤労会館)、2018年6月2日。	
・「経営指針を重視する中小企業経営」第2回ぐんま地域経済研究会(高崎経済大学地域科学研究所)、2018年7月4日。	
なお、2019年度秋以降に出版予定の経営学の入門テキスト(分担執筆)について、準備も進めた。	
(2) 教育活動について	
2018年度のゼミ活動は、例年と同じく夏合宿と冬の合同ゼミ合宿を行った。夏合宿では足尾銅山の見学等を行った。また見学地の感想をレポートにまとめ、簡易冊子にして訪問先に後日郵送した。合同ゼミでは2年生がグループ論文、3年生が個人論文を執筆し、発表した。	
・夏合宿(栃木県日光、足尾、2018年8月)準備、およびレポート集の編集。レポート集は足尾歴史館他に送付。	
・岐阜大学との合同ゼミ合宿(長野県高遠町、2018年12月)の準備、および実施。	
(3) 学会活動について	
社会政策学会広報委員として、春季大会、秋季大会の論文アップロードサイトの構築、および論文アップロードの実務作業に従事した(2018年5月、8月)。	
労務理論学会理事(学会誌編集委員)として、プログラム委員会に参加し、2019年度全国大会の企画運営の準備を行った(2018年8月、2019年3月)。	

2 その他の事項

メディア・取材

- ・「人出不足を乗り切れ！中小企業の打開策は」NHK 前橋ほっとぐんま 640、2018年6月6日放送（取材協力とコメント掲載）。
- ・「学問の森への招待」ラジオ高崎ラジオゼミナール、2018年12月14日、2018年12月21日放送。

出前講義等

- ・「繊維産業の人材育成について考える」夢ナビライブ 2018(東京ビッグサイト)、2018年7月14日。

3 次年度以降の計画・抱負

- ・繊維中小企業の人事評価および外国人労働者活用の研究をすすめる。
- ・製造業プロジェクトの海外調査（2年目）の準備をすすめる。